

うに郷通信

No.116
平成31年(2019)2月

発行： 宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

とんどまつり交流会



小春日和の1月14日(月)、田谷町では役員総出でとんどまつりの準備に取りかかりました。10時ごろ、芦屋市翠ヶ丘町まちづくり協議会の伊丹会長ら大人4人、子ども3人が到着しました。

「今年は見ただけではなく、とんど作り作業に参加してはどうですか」との常峰顧問の発案で、芦屋市の一行も小とんど作りをすることになりました。早速、常峰さん、役員さんの協力で、小とんど作り作業に取りかかり、約30分で完成させました。その後、ぽかぽ温泉で食事をしたり、奥山寺や八王子神社へ参拝して宇仁郷を散策しました。

午後3時ごろあらためて、田谷町のとんどまつりに参加した一行は、自分たちで作った小とんどで、地元の人と一緒に餅を焼いたりして、充実した一日を過ごしました。そして、今後の「交流継続」を約束して帰路につきました。(ふれあい交流広場部会)

コウノトリがやってきた

1月4日(金)宇仁郷にもコウノトリがやってきました。午前8時半頃、青野町の上空を優雅に飛んでいるのを目撃したり、昼下がりには、同町のハザマ池に降りている姿や近くの電柱にとまっている姿を目撃・撮影することができました。昨年の11月13日に西横田町の北条鉄道沿線の田んぼで、27日に北町のため池に飛来していることが神戸新聞に掲載されていたのでご存じの方も多いと思います。

幸せや赤ちゃんを運んでくれるというコウノトリを年始早々に目撃することができ、今年が宇仁郷にとって良い年になりそうな予感がしています。

まだ近くにいるかどうか不明ですが、もし見かけられたら、脅かすことがないよう離れた場所から静かに見守りましょう。(コウノトリ目撃者&情報部会)



岡田和哉さん撮影

ほっとトークより

宇仁幼稚園にサンタさんがやってきました。ほっとトークでは未就園児9人の子どもたちと一緒に参加しました。園児たちの可愛い歌声が響く中、プレゼントをもらって園児も子どもたちも大喜びでした。ふれあい館に戻り、子どもたちが遊ぶ中、若いお母さんたちとの話の中で『私たち夫婦は加西市に何の縁もゆかりもないのです。加西市に住みたくて土地を探しましたが宇仁だけが受け入れてもらえました。本当にうれしかったです。宇仁に住めて良かったです。』

この一言は協議会の一員としてうれしく、皆さんにお知らせさせていただきました。

(ふれあい交流広場部会 ほっとトーク)



宇仁の朝市が通算 1,000 回目を迎えます

宇仁の朝市は平成 21 年 7 月 5 日加西天然温泉「根日女」において立ち上げて以来、この 2 月 9 日の「ぼかぼ店」で通算 1,000 回目を迎えることになりました。この間には、滝野温泉ぼかぼ店の販売不振や根日女温泉の廃業などもありましたが、今日ではぼかぼ店と青野店が常設場所となり、固定客も増えて販売も安定しています。土曜日のアオノゴルフでの販売もお客さんによるこぼれていきます。朝市は毎週土・日曜日に開催するほか、北はりまふるさとフェスタや加西サイサイまつりなど、県や市からの出店要請があれば参加しています。

出店 1,000 回目を迎えることができたのは運営スタッフの尽力はもとより、支えていただきました近隣農家の皆さま、ご利用いただきました地域の皆さまのお陰であると感じています。

今年の 7 月には節目となる 10 周年を迎えます。「継続は力なり」。いきいきサロンやいこいの場としての活用を含め、地域の皆さんによるこんでもらえる朝市の継続を目指して、引き続きご支援とご協力ご利用をお願いします。

(朝市部会)



ぜんざいのふるまい

宇仁郷歴史資料館より



登録済みの書籍

宇仁郷歴史資料館では当面の間休館とし、吉田省三記念文庫開設準備を進めています。寄贈を受けた書籍はボランティアによる登録作業を終え、そのデータから加西市教育委員会生涯学習課と神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターの協力により書籍の分類作業がほぼ完了しました。

今後、書籍の分類に基づいた整理を行った上で、分類シールの作成や図書目録の作成、そして労力が必要な納架作業を行う必要があります。ボランティアのご協力の程、よろしくお願いいたします。

(宇仁郷歴史資料館)

ふれあい交流広場からのお知らせ

2月22日(金)午前 9:30 ふれあい館において片岡あき子さんによるハーバリウムの講習会を実施します。瓶の中で可愛い花が咲きます。

参加費600円(材料とお茶代込みです)、LEDの台(必要な方)は別途500円です。

申し込み 稲木まで ☎FAX 45-0781 締切 2月10日(15名程)



瓶の底からLEDを当てると…!?

宇仁郷歴史資料館だより ④-11 近・現在の宇仁郷

(14) 学制改革-1

明治 6 年(1863)、奥山寺・田谷・油谷・小印南が通う雲望校を奥山寺に創立。国正・五領新田が通う知新校を国正に創立。大工・馬渡谷・鍛冶屋が通う成業校を鍛冶屋に創立。青野が通う体要校が青野に創立されました。

明治 9 年(1876)、雲望・知新・成業の3校が合併し由水校が奥山寺に設立され、明治 10 年(1877)体要校が由水校に統合。明治 19 年(1886)宇仁郷8ヶ村が統合された由水尋常簡易小学校と名称変更。明治 21 年(1888)多加野村が発足し、明治 25 年(1892)改正令により多加野村立宇仁尋常小学校が誕生しました。

これまで、内山隆保氏は教鞭をとる傍ら、村民に教育の大切さを説き、村内の意見を取りまとめ明治 28 年 12 月に現在の宇仁小旧校舎跡付近に新校舎が建設され、初代校長に内山隆保氏が就任しています。

おそらく教育令の布告後の宇仁郷の学制改革は内山隆保氏の尽力により郡内で一番早かったのではないのでしょうか。



昭和 20 年頃の宇仁小校舎

開館日 第1・3日曜9時30分～12時